

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

群馬県まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県

### 3 地域再生計画の区域

群馬県の全域

### 4 地域再生計画の目標

本県では、本格的な人口減少を迎え、今後も人口減少と人口構成の変化が続く。

具体的には、本県人口は、2020年から2060年の40年間で33%（63.8万人）減少し、2060年には128.8万人になると見込まれている。一方で、老年人口割合は、2020年の30.4%から2060年には40.6%まで増加していくと見込まれている（国立社会保障・人口問題研究所）。人口が減少する中では、県民一人ひとりの存在がより大きくなる。若者、女性、高齢者、障害者、外国人など、すべての県民が能力を発揮していきいきと活躍できる地域づくりが必要となる。また、人口減少や人口構成の変化の現れ方を緩和させる取組とともに、それでもなお生じる変化に対し、変化を受け止め、適応するための取組も必要となる。

こうした観点から、人口減少と人口構成の変化が与えるさまざまな影響や今後期待される取組を以下に記載する。

#### (1) 人口減少に伴う変化・課題

- ・人口減少は、多くの分野で需要の減少要因となる。民間事業者の経営環境が厳しくなり、生活を支えるサービスを身近な生活圏で提供し続けることが困難となる場合がある。
- ・また、高度な医療サービスなど一定の人口集積を必要とする都市機能を維持していくことが困難となる場合があるとともに、国内の食糧需要も減少することが見込まれる一方、経営環境の変化が、新たな事業の創出を促す可能性もある。
- ・インフラについては、利用者の減少により、人口一人当たりの維持管理費が増加するおそれがあり、公営企業においては、需要の減少に応じて費用が減少しなければ、料金改定等により収入を確保する必要性が生じる。

#### (2) 年少人口の減少に伴う変化・課題

- ・年少人口の減少は、教育環境や子育て環境に大きな影響をもたらす。小中学校では、学校の小規模化が進むおそれがある。児童生徒数の減少により、きめ細かな教育を実現できる可能性が高まるが、小規模化の程度によっては、多様な意見に触れながら学んだり、教員の専門性を活かした教育を受けたりすることが難しくなるおそれがある。
- ・高等学校においても、生徒数の減少に伴い統廃合が進むと、高等学校のない地域が増加するおそれがある。また、大学進学率が上昇しても、大学進学者数は減少局面に入っていくことにより、小規模私立大学の経営環境が厳しくなっており、県内において高等教育の場が減少する可能性がある。
- ・一方、子育て環境については、出生数は減少していくものの、女性の就労が一層進むこと等により、保育サービスの需要が減少しない可能性がある。

### (3) 生産年齢人口の減少に伴う変化・課題

- ・生産年齢人口の減少は、人手不足が深刻化を招くおそれがある。日常生活や事業のために必要な人材が各分野で確保できなくなり、生活を支えるサービスの供給や経済活動の制約要因となるおそれがある。
- ・中小企業では経営者の高齢化が進み、後継者の確保が課題となる。農業分野では基幹的農業従事者の高齢化が進み、その数が大幅に減少し、熟練農業者のノウハウが失われるおそれがある一方、担い手への農地の集積が進む可能性がある。
- ・維持管理・更新が必要なインフラが増加していく中、土木・建築分野の労働力は減少傾向にある。

### (4) 老年人口の減少に伴う変化・課題

- ・老年人口の減少に伴い、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、医療・介護・住まい・公共交通・生活支援が地域で提供される環境の整備が課題となる。
- ・今後は、介護需要が高まる85歳以上の高齢者及び単身高齢者世帯の増加が見込まれる。生産年齢人口が減少する中で、他の分野の人材確保に影響を与えるおそれがある。

これらの変化・課題に対処するため、次の事項を基本目標に掲げ、人口減少対策・地方創生の取組を切れ目なく進めることで、県民の「幸福度」の向上を目指す。

- ・基本目標1 群馬で暮らし始めたいくなる
- ・基本目標2 群馬に住み続けたいくなる
- ・基本目標3 群馬で家族を増やしたいくなる

## 【数値目標】

| 5-2の<br>①に掲げ<br>る事業 | K P I                            | 現状値<br>(計画開始<br>時点) | 目標値<br>(2024年度) | 達成に寄与する<br>地方版総合戦略<br>の基本目標 |
|---------------------|----------------------------------|---------------------|-----------------|-----------------------------|
| ア                   | 他都道府県からの転入超<br>過数                | -386人               | 0人              | 基本目標1                       |
| イ                   | 一人当たり県民所得                        | 293.7万円             | 375.0万円         | 基本目標2                       |
| ウ                   | 女性の有業率(15~64歳)<br>※1             | 69.8%               | 74.8%           | 基本目標3                       |
| ウ                   | 子供を産み育てやすいと感じる保護者の割合(未就学児の保護者)※2 | 77.0%               | 85.0%           | 基本目標3                       |

※1 2023年度までに実施した事業の効果検証に活用

※2 2023年度以降に実施する事業の効果検証に活用

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

#### ① 事業の名称

群馬県まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 群馬で暮らし始めたい事業
- イ 群馬に住み続けたい事業
- ウ 群馬で家族を増やしたい事業

#### ② 事業の内容

- ア 群馬で暮らし始めたい事業

本県の恵まれた立地条件や優れた拠点性等を活かして交流を活発にし、

全世代交流、二地域居住、プログラマー、アーティスト、エンジニアなどの高発信力人材を含めた移住などの対策を進めるとともに、他地域との交流の間口をデジタルの力により広げることで、本県の様々な分野の優れたコンテンツの発信を強化し、群馬の魅力ある暮らしを東京圏などへ発信するほか、地域の課題解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、本県に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組み、若い世代が流出する流れを変え、群馬に人を呼び込める新しい人の流れをつくる事業。

#### 【主な事業例】

- ・グリーン・ツーリズム推進
- ・やま・さと応緑隊
- ・移住スカウトサービスを活用した、オンライン関係人口拡大
- ・オンラインを含む移住セミナー等により本県の紹介や魅力を発信し、本県との関わりを創出
- ・「ぐんま暮らし支援センター（ぐんま暮らし相談員及び就職相談員）」の設置・運営
- ・ぐんま暮らし相談会・オンライン移住相談会やセミナーの開催
- ・新たな価値や魅力の発信
- ・移住情報冊子の作成・配布、ホームページの運営
- ・移住相談会やセミナー等で地域情報・移住支援情報・移住者や「地域おこし協力隊」のトーク等の発信
- ・ライフスタイル提案型雑誌やWeb媒体による移住者の生活体験等の「ぐんま暮らし」の紹介
- ・県内各地の移住コーディネーター等の連携支援
- ・移住コーディネーターをはじめとする移住の支援者の発掘・養成
- ・ぐんま暮らし推進連絡会議・市町村連絡会議の運営
- ・群馬県移住支援金事業
- ・高発信力人材と連携し、動画やSNS、各種イベントにて「ぐんま暮らし」の魅力等を発信
- ・ぐんま林業就業支援研修やぐんま森林・林業ツアーによる就業支援
- ・ぐんま森林・林業就業ナビ「森ワーク」による情報発信の強化
- ・「若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）」の運営
- ・「地域おこし協力隊」の活動・定住支援
- ・特定地域づくり事業協同組合の設置支援による人口急減地域での雇用の受け皿づくり
- ・ファームトレーニング事業
- ・就農準備資金、経営開始資金

- ・ U・I ターン就職促進事業
- ・ 「ぐんま暮らし支援センター」就職支援事業
- ・ 「プロフェッショナル人材戦略拠点」の設置・運営
- ・ 全県リビングラボ構想の実現
- ・ 外資系企業等向けプレゼンテーション
- ・ 非認知能力の評価・育成、社会情動的学習（SEL）
- ・ 教育等データの利活用に関する調査研究
- ・ 地域・全国から選ばれる学校づくり 等

## イ 群馬に住み続けたい事業

各分野におけるデジタル化を集中的に推進し、産業の競争力強化を図り、良質な雇用を創出するとともに、次世代の担い手を育成する事業、「災害レジリエンス」、「医療提供体制」の強化により安全・安心で持続可能な社会基盤を実現する事業、これらの幅広い領域での取組を進めることで、多様な県民が誰一人取り残されることなく活躍できる環境を整え、多くの人に選ばれる魅力的な地域をつくり、人口の流出防止及び人材の県内定着・定住を促進する事業。

### 【主な事業例】

- ・ 「上毛かるた」の活用
- ・ 東国文化周知
- ・ 「世界遺産センター」を活用した普及啓発
- ・ 県民団体や企業と連携した世界遺産の保存活用
- ・ 「群馬交響楽団」による魅力発信
- ・ 「群馬県埋蔵文化財調査センター」発掘情報館を活用した普及啓発
- ・ 「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵コンクール
- ・ 群馬県を代表する土器の3Dデータを公開
- ・ 尾瀬ネイチャーラーニング
- ・ 森林環境教育
- ・ ぐんま環境学校（エコカレッジ）
- ・ 子ども向け地域環境学習
- ・ 「世界遺産」学校キャラバン
- ・ 「群馬パーセントフォーアート」推進条例の制定
- ・ 民間団体をはじめとする関係機関と連携した登録活動
- ・ 機運醸成のための普及啓発
- ・ キャリア教育推進
- ・ 社会人講師活用
- ・ 次代を担う職業人材育成
- ・ 結婚・出産等を含むライフデザインを学ぶ機会の提供
- ・ 建設産業のインターンシッププログラムの実施

- ・「Gワークチャレンジ」・高校生インターンシップ推進
- ・産学官連携会議を通じた建設産業の担い手の確保・育成
- ・有機農業の生産から流通・販売、消費までの一貫した取組による拡大
- ・バイヤー招聘・商談会、現地でのPR販売、輸出に取り組む生産者・事業者の輸出取引の拡大の支援及び育成、輸入規制への対応
- ・ぐんま農業イノベーション推進
- ・農地の区画拡大・整形化等の生産基盤の整備、農業水利施設の整備・保全
- ・農村女性の起業支援
- ・「6次産業化サポートセンター」におけるプランナー派遣、農商工連携推進
- ・農林大学校「農と食のビジネスコース」設置による6次産業化教育の充実
- ・消費者ニーズにマッチした農畜産物の商品化
- ・農泊の推進
- ・県産木材を使用した住宅及び非住宅建築物等の建設支援
- ・木質バイオマスの利活用促進、木育の推進
- ・大手住宅メーカー等と連携した県産木材の首都圏への販売強化
- ・林道、作業道、高性能林業機械等の基盤整備
- ・「自動車サプライヤー支援センター」による次世代モビリティ産業参入支援
- ・産業技術センターの開発研究・技術支援
- ・「デジタルソリューションラボ」による県内企業へのデジタル導入支援
- ・ぐんまDX技術革新補助金
- ・I N P I Tとの連携による知的財産に関する普及啓発
- ・技術と経営のワンストップ支援拠点「企業サポートぐんま」の活用
- ・「Gメッセ群馬」を活用した大規模展示商談会の開催、ビジネスマッチング支援
- ・群馬県産業支援機構による下請取引あっせん・個別マッチング
- ・海外展開相談、セミナーの開催、国内商社等との商談、見本市への出展
- ・繊維産業の魅力PR事業
- ・食品（地酒含む）産業振興
- ・産地組合及び業界団体が行うブランド力向上の取組支援
- ・首都圏等、大消費地での展示商談会出展の支援
- ・制度融資
- ・群馬県産業支援機構・商工会・商工会議所による経営相談事業
- ・「ビジネスサポートBASEぐんま”ココカラ”」における相談対応

- ・ 起業機運醸成事業
- ・ 地方創生起業支援事業
- ・ 事業承継診断
- ・ 物流サービスの生産性向上や経営力強化に関する物流セミナー
- ・ 地域の稼ぐ力向上モデル事業
- ・ 官民連携によるリノベーションまちづくり
- ・ 観光マーケティング調査事業
- ・ 観光地域づくり推進事業
- ・ DMO専門人材人件費補助
- ・ 山岳観光事業
- ・ ニューノーマル普及ゼミ
- ・ ニューツーリズム創出支援事業補助
- ・ 位置情報提供サービスを活用したWEBマーケティング事業
- ・ 地域が主体となっていく魅力創出事業
- ・ 自然公園等整備
- ・ 森林サービス産業の推進、森林空間利用の拠点整備
- ・ 動画クリエイターを活用したPR動画配信
- ・ SNSを活用した「リトリート＝群馬」認知拡大キャンペーンの実施
- ・ WEB広告配信
- ・ リトリートプラン体験動画作成・配信
- ・ リトリートプランの商品化促進
- ・ 地域が取り組むリトリート環境整備への補助
- ・ 国立公園・国定公園における県保有施設の維持・管理及び県立公園の整備・運営
- ・ オープンイノベーションプラットフォーム運営
- ・ デジタルイノベーション加速化補助金
- ・ 課題解決型新事業創出カリキュラム
- ・ 最新動向等に関するセミナー、マッチング、技術開発、販路開拓支援
- ・ 「ぐんまスペース&エアロプロジェクト」による宇宙ビジネス参入支援
- ・ ICTやAI等の先端技術により森林施業や木材流通を効率化
- ・ スタートアップエコシステム形成（アクセラレーションプログラム、各種ピッチイベント、支援機関による連携事業）
- ・ 県内周遊の促進
- ・ MICEの推進及び誘致、コンベンションの開催支援
- ・ 県内事業者の受注獲得支援、コンベンションパートナー推進
- ・ 「Gメッセ群馬」の新たな活用
- ・ 「Gメッセ群馬」の環境整備
- ・ プレゼンテーションぐんま

- ・都内コワーキングスペース利用
- ・外資系企業個別連携
- ・クリエイティブ産業移転促進補助金
- ・産業団地の造成・分譲
- ・立地企業フォローアップ
- ・新規産業団地候補地事業化推進
- ・農畜産物等の輸出促進（各種セミナー、バイヤー招聘・商談会、現地でのPR販売等）
- ・県産木材製品（県産2×4材等）の輸出促進
- ・地域外交推進
- ・外国語観光情報ウェブサイトを核とした情報発信
- ・SNS等、デジタルコンテンツを活用した情報発信
- ・観光施設におけるインバウンド受入体制強化
- ・インバウンド向け観光コンテンツ造成促進
- ・予約手配や域内移動等におけるストレスフリー環境整備
- ・教員の多忙化解消に関する提言の発出
- ・県立特別支援学校ICT推進
- ・ICT活用促進プロジェクト
- ・県立高校ICT教育加速
- ・「群馬デジタルイノベーションチャレンジ」
- ・デジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun」の運営、市町村への出張
- ・「tsukurun」事業、市町村への「tsukurun」のサテライト展開
- ・ぐんまサイエンスリーダープログラム
- ・「GUNMAマンガ・アニメフェスタ」の開催
- ・DX産業人材育成支援事業
- ・県内中小企業向けデジタル人材育成支援
- ・離職者等再就職訓練事業
- ・産業技術専門校におけるスキルアップセミナー
- ・ぐんまDX技術革新補助金
- ・ものづくり体感事業
- ・ぐんま林業担い手対策、森林整備担い手対策
- ・がんばる新農業人応援
- ・週休2日制現場の促進
- ・建設キャリアアップシステム活用の促進
- ・ICT活用工事の促進
- ・BIM/CIMの試行
- ・海外ビジネス等に関する講演会

- ・グローバル始動人テイクオフ事業
- ・働き方改革推進事業
- ・「群馬県いきいきGカンパニー認証制度」
- ・ぐんま女性活躍大応援団
- ・女子高校生理工系チャレンジ支援セミナー
- ・大学生サマープログラム
- ・女性の就職応援事業
- ・IT人材育成×女性就労支援 「MAITSURUプロジェクト」
- ・働く女性応援事業
- ・工賃向上推進事業（共同受注窓口、共同販売会、農業分野におけるマッチング強化事業）
- ・職業自立推進
- ・新時代の特別支援学校作業学習充実
- ・障害者委託訓練
- ・障害者の就労先開拓
- ・障害者テレワーク支援事業
- ・「群馬県シニア就業支援センター」事業
- ・シルバー人材センター連合事業費補助
- ・外国人材定着支援セミナー
- ・外国人材向け合同企業説明会、企業向け外国人材受入れ相談会
- ・「ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター」運営
- ・定住外国人の活用による日本語学習支援ボランティア養成事業
- ・社会福祉協議会支援、民生委員・児童委員活動支援
- ・地域見守り支援
- ・「市町村における包括的な支援体制づくり」の推進
- ・防災士養成
- ・地域防犯力向上対策
- ・子ども・女性の安全確保対策
- ・特殊詐欺対策
- ・日本語学習環境整備、日本語学習支援強化
- ・「やさしい日本語」普及推進
- ・医療通訳養成・研修事業、医療通訳派遣
- ・災害時多言語支援センター設置運営訓練
- ・県立高校等における日本語指導の体制づくり
- ・ベトナム外交学院交流事業
- ・循環型社会づくりの推進
- ・消費者教育（講座、学習会等）
- ・子どもの居場所づくりの推進
- ・保育士等の資質向上

- ・児童虐待防止条例に基づく各種施策の実施
- ・市町村母子保健事業の支援
- ・ひとり親家庭等における子育て負担の軽減
- ・動く環境教室、こども版環境白書の作成
- ・地域における環境SDGs推進
- ・県産木材利用拡大
- ・森林空間利用推進
- ・尾瀬保全推進業務
- ・多自然川づくりの推進
- ・多々良沼公園における自然再生に向けた取組
- ・立地適正化計画（防災指針を含む）策定支援
- ・都市再生整備計画策定支援
- ・土地区画整理
- ・市街化調整区域における地区計画策定支援
- ・市街地再開発
- ・官民共創による都市アセットを活用したまちづくり
- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出
- ・新産業誘致に向けたまちづくりの支援
- ・多面的機能支払交付金
- ・鳥獣保護区の見直し、捕獲者の確保・育成、大学との共同研究、特定鳥獣適正管理
- ・森林整備を推進するための、市町村が管理する基幹林道の県代行整備
- ・過疎地域いきいき集落づくり支援
- ・「群馬県不登校児童生徒等支援基金」造成
- ・フリースクールの施設運営、経営等に関する助言等の実施
- ・ボランティアマッチングサイト「ボラスルン」の運用
- ・多様な主体による協働推進
- ・群馬県地域づくり協議会の運営
- ・「地域課題解決プロジェクト」
- ・「官民共創ギルド」
- ・官民共創スペース運営・活用
- ・木質バイオマスエネルギー利活用施設の整備支援
- ・自転車通行空間整備
- ・プロスポーツの「パブリックビューイング」
- ・プロスポーツチームの所属選手を講師として小中学校に派遣し、実技指導や自身の体験等を伝える「プロスポーツ感動体験プログラム」
- ・トレーニング拠点のDX化による地域活性化
- ・「ぐんま県境稜線トレイル」の普及及び地域活性化
- ・第79回（2025年）国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（スピー

ド) の開催

- ・ 敷島公園水泳場の整備
- ・ 群馬県生活基盤施設耐震化等補助金による耐震化等の推進
- ・ 流域下水道の整備・維持管理
- ・ 汚水処理施設の広域化・共同化
- ・ 下水道施設の耐水化
- ・ 合併処理浄化槽への転換促進
- ・ 景観誘導地域の指定
- ・ 都市公園の整備・維持管理
- ・ 空き家対策、古民家再生・活用推進
- ・ 住宅・建築物の耐震化促進
- ・ ぐんま健康ポイント制度県公式アプリ「G-WALK+」の活用
- ・ 健康を支援する食環境づくり（減塩等の食生活改善）
- ・ 適度な運動習慣（日常生活における歩数の増加等）の普及啓発
- ・ たばこ対策（喫煙防止講習会、受動喫煙防止対策等）
- ・ 生活習慣病・疾病対策（がん・糖尿病・慢性腎臓病等）
- ・ 地域・職域連携推進協議会の開催（地域保健と職域保健の連携・課題の共有等）
- ・ 歯科口腔保健対策（オーラルフレイル啓発促進等）
- ・ 食育推進（食育推進会議の運営、若い世代の食育推進、地域食文化継承事業、食育応援企業登録制度等）
- ・ 感染症対策（医療体制整備、調査や検査の実施、正しい知識の普及、予防接種の推進）
- ・ がん及びがん検診の正しい知識の普及啓発
- ・ 県や市町村における環境整備、スポーツ・運動に親しめる環境の提供、安全な自転車利用の環境整備
- ・ 介護の仕事のPR、介護事業所の課題の解決支援、ぐんま認定介護福祉士の養成、介護福祉士修学資金等貸与、外国人人材の受入れ
- ・ 福祉マンパワーセンターによる無料職業紹介、就職面接会の開催
- ・ 次代を担う職業人材育成（福祉資格取得推進）
- ・ 離職者等再就職訓練（介護福祉士コース、介護職員初任者研修）
- ・ 地域医療介護連携拠点、在宅医療介護人材育成（専門・多職種連携研修）
- ・ 在宅療養支援診療所等設備整備
- ・ 「認知症疾患医療センター」の運営、認知症サポート医の養成
- ・ 認知症サポーター養成
- ・ 生活支援コーディネーター養成研修
- ・ フレイル予防推進リーダーの養成支援、「群馬県地域リハビリテーション支援センター」

- ・老人福祉施設整備費補助、地域密着型介護拠点等整備
- ・病床機能分化・連携推進、回復期病床転換促進設備整備
- ・若手医師のキャリア形成支援
- ・緊急医師確保修学資金貸与
- ・女性医師等就労支援
- ・看護職員修学資金貸与
- ・病院内保育施設運営費補助
- ・看護師勤務環境改善施設整備費補助
- ・保健医療計画・地域医療構想の推進
- ・地域医療介護総合確保基金の活用（病床機能分化・連携推進）
- ・救命救急センター運営費補助
- ・救急患者退院コーディネーター設置補助
- ・ドクターヘリ運航
- ・統合型医療情報システム運営
- ・災害医療研修
- ・災害拠点病院等施設設備整備補助
- ・「周産期母子医療センター」の運営支援
- ・在宅未熟児等一時受入事業
- ・新生児蘇生法研修会等の開催
- ・分娩取扱施設整備事業
- ・小児救急医療支援事業
- ・子ども医療電話相談
- ・小児救急医療啓発
- ・地域医療介護連携拠点
- ・過疎地域や周産期医療、医師不在地域でのオンライン診療体制の構築（モデル事業の実施）
- ・遠隔医療施設整備事業（医療機関への設備整備補助）
- ・県民や医療機関等を対象とした普及啓発・セミナーの開催
- ・河川改修、堤防嵩上げ、堤防強化、調節池整備、河川やダムへの堆積土除去
- ・土石流対策、がけ崩れ対策、地すべり対策
- ・バイパス整備、現道拡幅、落石対策、電線共同溝、沿道建築物の耐震化促進
- ・危機管理型水位計及び河川監視カメラの設置
- ・要配慮者利用施設への避難支援
- ・個人の避難行動計画(マイ・タイムライン)の作成支援
- ・土砂災害警戒区域等の見直し、「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」
- ・防災重点ため池の豪雨・地震対策の実施
- ・防災重点ため池におけるハザードマップの作成・周知

- ・企業立地エリア災害レジリエンス実証事業
- ・避難所等で利用可能な高機能・高付加価値コンテナの設置推進
- ・車中避難普及啓発など分散避難の推進
- ・個別避難計画の策定に係る市町村への支援
- ・シェルター設備の導入推進
- ・社会資本における長寿命化計画に基づく点検・維持管理・更新
- ・社会資本におけるパトロール・伐木・除草・除雪等の日常的な維持管理
- ・指定管理者制度・包括的民間委託・P a r k - P F I (パーク P F I) の導入
- ・路線バスの運行等支援、デマンドバス等多様な移動手段の導入支援
- ・ノンステップバスの導入促進
- ・群馬版M a a S「G u n M a a S」の県内普及
- ・バイパス整備、道路新設、スマート I C 整備・機能強化の検討
- ・現道拡幅、交差点改良
- ・通学路合同点検、歩道整備、無電柱化
- ・自転車車通行空間整備、ヘルメット着用の促進、自転車事故多発箇所への看板設置
- ・高齢者交通安全教育
- ・行政手続の電子化の推進
- ・利用しやすいテレワークの推進
- ・ペーパーレス化の促進による働きやすい職場づくり
- ・「ぐんま応援びと」推進
- ・県動画・放送スタジオの活用による情報発信
- ・ソーシャルリスニングツールによる情報分析
- ・メディアミックス戦略の高度化 等

## ウ 群馬で家族を増やしたくなる事業

結婚・妊娠・出産・子育てに関する支援や社会全体で子ども・若者とその家族を支える環境の整備、仕事と子育て等が両立できる職場づくりの推進など、ライフステージに合わせて若い世代の理想を実現し、家族の形成を支援するとともに、安心して子育てできる環境をつくる事業。

### 【主な事業例】

- ・「ぐんま結婚応援パスポート」
- ・「ぐんま赤い糸プロジェクト」
- ・不妊・不育専門相談センター事業
- ・「こども家庭センター」設置促進
- ・ぐんま妊娠 S O S サポート事業

- ・ 幼児教育・保育の施設整備費及び運営支援
- ・ 保育士等確保
- ・ キャリアアップ研修等による保育士等資質向上・処遇改善
- ・ 地域子ども・子育て支援事業の推進
- ・ 児童相談所の体制整備
- ・ ほめて育てるコミュニケーショントレーニング普及
- ・ 幼児教育・保育の無償化
- ・ 第3子以降3歳未満児保育料免除
- ・ 子ども医療費無料化
- ・ 勤労者教育資金
- ・ 「ぐんまちょい得キッズパスポート」
- ・ 「結婚・子育て応援ポータルサイト」
- ・ ヤングケアラーへの支援
- ・ 「群馬県子ども・若者支援協議会」による情報共有を通じた、適切な支援
- ・ セーフネット標語「おぜのかみさま」の普及啓発
- ・ 青少年の健全育成のための県民運動の展開
- ・ 「ぐんま県民労働相談センター」
- ・ 働く人のメンタルヘルス相談
- ・ 放課後児童クラブの設置促進、研修による放課後児童支援員の資質向上
- ・ 子ども食堂やフードバンク等における支援ニーズと企業・団体とのマッチング機会の提供 等

※ なお、詳細は群馬県デジタル田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

59,849,827千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに群馬県公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

該当なし

## **6 計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで